

前橋市デジタルツインのオープンデータ化について



概要

前橋市では、国土交通省が主導する3D都市モデル※の整備・活用・オープンデータ化のプロジェクトである「Project PLATEAU」に参画し、3D都市モデルを活用した都市課題の解決や新たなサービス創出をもたらす産学官民の取り組みを推進しているところ。

その取り組みの一環として、県庁～前橋駅間のケヤキ並木通りにおいて、現実の都市空間をデジタル空間上に再現し、建築物やアセット（樹木・ベンチ等）のプランニングや景観シミュレーションなどの機能を搭載したまちづくりツール「前橋市デジタルツイン」を構築。誰もが自由にデータを引き出せるよう、アプリケーション及びソースコードをオープンデータとして公開することで、まちづくりのDXを実現し、地域のオープン・イノベーションの創出を図るもの。

※ 3D都市モデル：建築物や道路など現実の都市空間を3次元（3D）で再現した地理空間データ



前橋版デジタルツイン画像
リアルな都市空間をデジタル空間上に再現



ウォークスルー機能搭載
デジタルツインの中をアバターで自由に動きまわることが可能



景観シミュレーション・眺望分析
任意の視点から眺望を分析することが可能

オープンデータ



公開日：令和7年9月25日（木）

デジタルツインアプリケーション：前橋市オープンデータカタログサイトにて公開（URL）<https://odcs.bodik.jp/102016/>

ソースコード：GitHubにて公開（URL）<https://github.com/Synesthesias/MaebashiDigitalTwin>